



発行:垂水区医療介護サポートセンター 住所:〒655-0038 神戸市垂水区星陵台4丁目4-37 垂水区医師会内 TEL:078-785-1166 FAX:078-785-1167

「ピンチをチャンスに変える」繋がりへの取り組み



変異株の拡大とクラスターの多様化にも拘わらず緊急事態宣言 が解除され、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されてい ます。病院・施設への訪問や従来のような対面での協議も困難で 関連職種間の情報共有が不十分な状況が続いています。今後の 感染防止策も踏まえて、地域包括ケアシステムもさらなる対応が 求められており、これまで培った多職種連携ネットワークを生かし、 「今こそ地域の力」を集結発揮するための新たな取り組みが必要 と思われます。

連雀(レンジャク)

昨年の診療報酬改定で業務の効率化に資するICTの利活用とし

て、これまでの「やむを得ない事情により参加できない場合」に限定されていた情報通信機器を用いた退院共同指導(以下Web退院前カンファレンス)が、「必要に応じて」実施可能となりました。そんな中、多職種の関わりが必要な垂水でのケースで担当ケアマネジャーと地域連携室の協力の下、退院前に病院と在宅スタッフを結ぶWebカンファレンスが開催され、私も診察室からオンラインで参加することが出来ました。

神戸市医師会地域包括ケア委員会では「Web退院前カンファレンスの手順書」の作成を進めておりますが、垂水区でもさらに推進するための委員会を病院地域連携室と関係職種で開催する予定で、医療介護サポートセンターも協働していくことになりました。

このような時だからこそ≪時間、距離、組織≫の壁を超え、「ピンチをチャンスに変える」繋がりへの取組みを拡げていきたいと考えております。

地域での医療介護連携強化のための中心的役割を担うセンターを目指して中澤、繩手の二人の コーディネーターが身を粉にして頑張っておりますので、更なるご理解とご協力のほど、どうか宜しく お願いします。

追:尖った冠羽とその縁までに至る黒い過眼線が美しく野鳥界の歌舞伎役者として有名なレンジャク(連雀)ですが尾の先端が黄色をしているのがキ(黄色)レンジャク、赤いのがヒ(緋色)レンジャク。 日本には数年に1度、群で渡来する不定期な冬鳥ですが今年は当たり年で垂水区内の公園などで も飛来情報が相次いでいます。西区の神出町では暖かな日差しの中、キレンジャクが咲き始めの桜 の花びら(蜜を吸っているのか?)を口にくわえていました(3月25日/2021撮影)。

垂水区医師会会長 ・ 垂水区サポートセンターセンター長 中村治正

「いちばんたいせつなことは、目に見えない」

「いちばんたいせつなことは、目に見えない」

ご存じの方も多いと思いますが、『星の王子さま』の一節です。新型コロナウィルス感染症がこの世界に生まれ、今まで当たり前だったこと、それができなくなったりすることで「たいせつなこと」が何なのか、それぞれにお感じのこともあるのではないでしょうか?

ウィズコロナの時代、サービス担当者会議、退院前カンファレンス、研鑽のための 研修等、オンラインスキルが必須のスキルになってきています。垂水区医療介護サポ ートセンター様のご支援をいただき、地域で活動するケアマネジャー向けに「はじめ てのオンライン体験会」を開催していただくこととなりました。オンライン活用は まだ始まったばかりですが、まずは体験し、医療と介護が利用者の暮らしを支える ために「たいせつなことはなにか」を考え、新たな連携を作り出していくためのきっ かけとなればと思っています。



神戸市ケアマネジャー連絡会 垂水区世話人 林 義記





スピーカービューかギャラリービューか選択する。



【タブレット編 iPadの場合】



ZOOMに慣れたかなと、しばらく触っていないと画面が変わっているのです。めちゃ焦る自分がいます。 ZOOMはどんどん進化しているよう。ケアマネ連絡会とサポートセンター共催の、「ZOOM体験会」で、 「また忘れた~ そうやった~」と、楽しく操作の練習ができればいいですね。お待ちしております!

